

深礎杭の設計／計算モデル

		常時・暴風時・レベル1地震時	レベル2地震時に対する地震時保有水平耐力	
杭体の剛性		・弾性体	・ひびわれ、鉄筋降伏による曲げ剛性の低下を考慮したトリリニア型モデル	
地盤抵抗要素	杭底面	鉛直方向地盤抵抗 (回転抵抗考慮、大口径はさらに回転の連成効果考慮)	・弾性体(浮き上がりを考慮) ※引き抜き力に対して抵抗しない	・バイリニア型モデル(浮き上がりを考慮)
		水平方向せん断地盤抵抗	・弾性体(浮き上がりを考慮)	・バイリニア型モデル(浮き上がりを考慮)
	杭全面	水平方向地盤抵抗	・バイリニア型モデル ・3次元的拡がりを考慮した受働抵抗を上限とする。	・バイリニア型モデル ・3次元的拡がりを考慮した受働抵抗を上限とする。
		杭前背面 (大口径は杭軸線からの離れによる回転成分を考慮)	・土留め工法に応じて考慮 ・バイリニア型モデル ・上限値は最大周面摩擦力度	・土留め工法に応じて考慮 ・バイリニア型モデル ・上限値は最大周面摩擦力度
	杭側面	鉛直方向せん断地盤抵抗	・土留め工法に応じて考慮 ・バイリニア型モデル ・上限値は最大周面摩擦力度	・土留め工法に応じて考慮 ・バイリニア型モデル ・上限値は最大周面摩擦力度
		水平方向せん断地盤抵抗	・土留め工法に応じて考慮 ・バイリニア型モデル ・上限値は最大周面摩擦力度	・土留め工法に応じて考慮 ・バイリニア型モデル ・上限値は最大周面摩擦力度